

平成 26 年 5 月 12 日

～ 農林漁業 6 次産業化ファンド出資第 3 号 ～
『NCB九州6次化応援ファンド』「西日本フレッシュフーズ株式会社」へ
の出資決定

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、当行と株式会社 農林漁業成長産業化支援機構（本社：東京都 代表取締役 大多和 巖、以下「機構」）が出資を行い、当行連結子会社である株式会社 NCB リサーチ&コンサルティング（代表取締役社長 古賀 恭介、以下「R&C」）が運営する「NCB九州6次化応援投資事業有限責任組合」（略称：「NCB九州6次化応援ファンド」）を通じ、西日本フレッシュフーズ株式会社（本社：熊本市 代表取締役 志賀 泰友、以下「西日本フレッシュフーズ」）に対して、1 億 5,000 万円の出資を行うことを決定いたしました。

本件は、NCB九州6次化応援ファンドの第3号出資案件となります。

西日本フレッシュフーズは、農産物の生産を行う合同会社 マイルド（本社：熊本市 代表社員 志賀 真理、以下「マイルド」）と、青果物の販売を行う株式会社双葉（本社：熊本市 代表取締役 志賀 泰友、以下「双葉」）が共同出資する企業です。

農業者が青果会社と共同で地元の生産者と連携し、九州を中心に生産される野菜・果物を活用し、青果会社の加工ノウハウ・販路を活かして、需要拡大が見込まれるカット野菜の製造販売を行います。将来的には、漬物等加工食品の製造販売へ展開していく予定です。

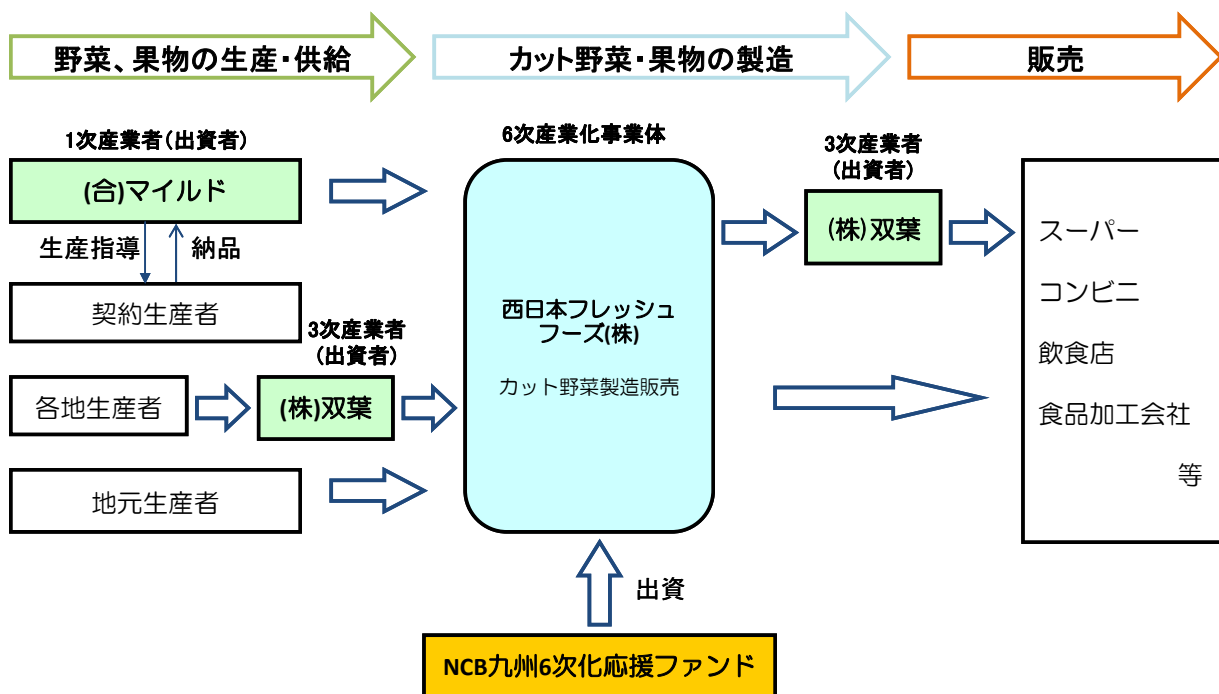
【出資決定のポイント】

- 出資者であるマイルドをはじめ、地元の生産者と連携して九州を中心に生産される多種多様な野菜・果物を原材料として活用する事業であり、地域の雇用拡大や産地形成を実現すること。
- 今後も更なる成長が見込まれるカット野菜市場において、マーケットのニーズを満たす高品質かつ安定供給を強みとした商品を提供することで、新たな販売チャネルを拡大すること。
- 将来的には、加工食品の製造販売への展開等、今後の成長戦略が明確であること。

【投資先企業概要】

会社名	西日本フレッシュフーズ株式会社
所在地	熊本県熊本市西区田崎町484番地 (工場建設後、熊本県上益城郡益城町へ移転予定)
代表者	代表取締役 志賀 泰友
事業内容	業務用および市販用カット野菜サラダの製造・販売
投資額	150百万円
資金使途	カット野菜工場建設資金
資本金	300百万円(投資後)

【事業スキーム図】



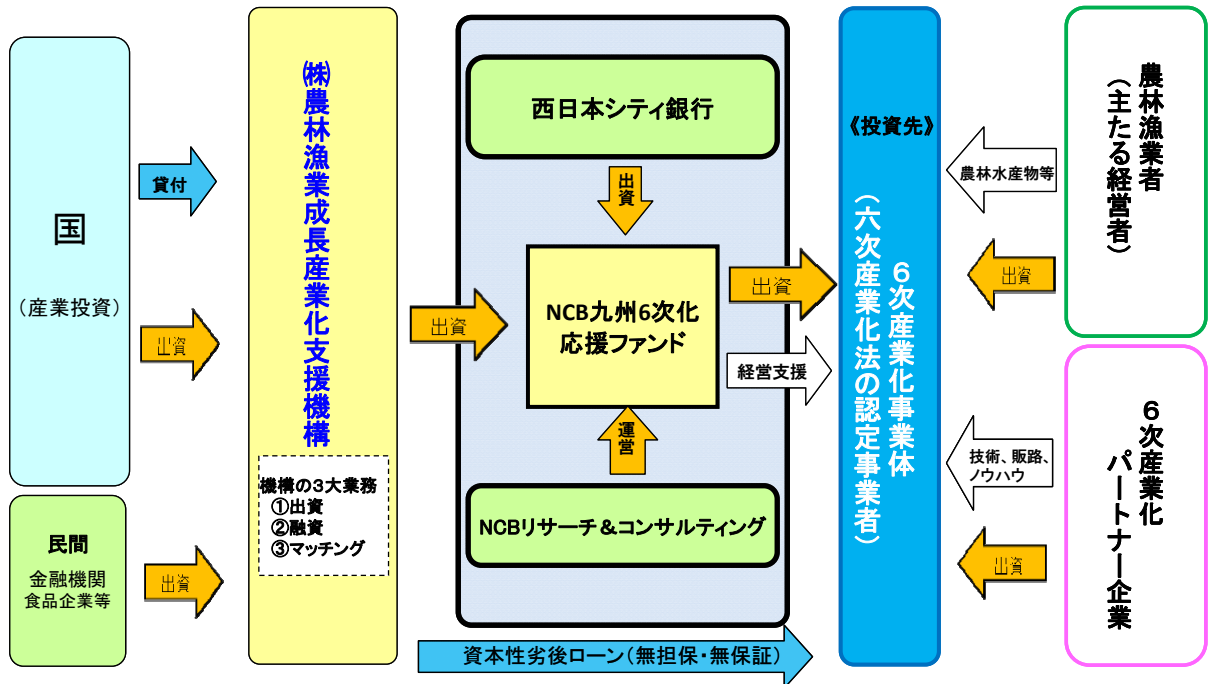
- 「NCB九州6次化応援ファンド」は、当行と機構の共同出資による、九州における1次産業事業者と2次・3次産業事業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンドであり、当行と機構を有限責任組合員とし、R&Cが無限責任組合員となってファンドの運営・管理を行います。ファンド総額は20億円です。
- 当行は、地域金融機関としてこのファンドを通じて地域経済の発展に貢献するとともに、引き続き農林漁業分野への取り組みを積極的に行ってまいります。

以上

本件に関するお問合せ先
 法人ソリューション部 広川・渡辺 TEL092-476-2741

参 考 『NCB九州6次化応援ファンド』の概要

【ファンドスキーム図】



- ・当行と(株)農林漁業成長産業化支援機構が半々の出資でNCB九州6次化応援ファンドを設立。
- ・NCB九州6次化応援ファンドから農林漁業者とパートナー企業との合弁会社に対して出資を行う。

【ファンドの概要】

ファンド総額	20 億円
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
無限責任組員	NCBリサーチ&コンサルティング http://www.johoza.co.jp/
有限責任組員	農林漁業成長産業化支援機構 http://www.a-five-j.co.jp 西日本シティ銀行 http://www.ncbank.co.jp
投資対象	九州圏内(九州各県・山口県等)に主な拠点がある農林漁業事業者と商工業者との合弁企業体で、投資対象事業が生産から消費者までのバリューチェーンを創出する農林水産業の成長産業化にチャレンジする企業
主な投資形態	株式(普通株・種類株)
組合の存続期間	15 年